



高知大学 IoP共創センター設置について



本学におけるIoPプロジェクトをはじめとする農業分野のSociety 5.0に関わる教育、研究、地域貢献を推進するとともに、地域の拠点として国内外での活動を通じて持続可能な社会の構築と人材育成に貢献することを目的とし、**令和3年10月1日**に全学組織(学内共同教育研究施設)として設置。

【ビジョン】

IoP共創センターが目指す展望(ビジョン)は、植物の生理生態と生育環境に関わる情報の定量化・機能化・共有化(Internet of Plants)を図ることにより、次世代のための一次産業全体の革新と地域社会の創造を目指します。

【ミッション】

IoP共創センターが目指す使命(ミッション)は、

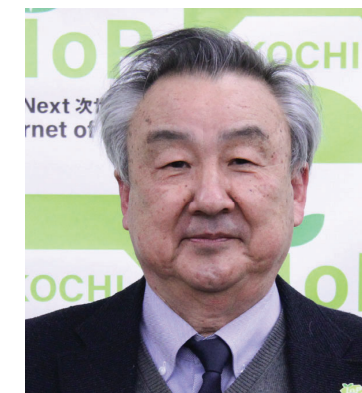
- ・産学官民の共創により、施設園芸分野のIoPに関わる研究開発を推進します。
- ・IoP技術を生産者へ普及させるとともに、研究成果を活用して次世代農業を担う人材を育成します。
- ・施設園芸分野で培ったIoP技術を一次産業全体のデジタルトランスフォーメーションへと進化させ、一次産業力を強化し、持続可能な地域社会と国際社会の発展に貢献します。

【センター長】

きたの まさはる
北野 雅治 特任教授

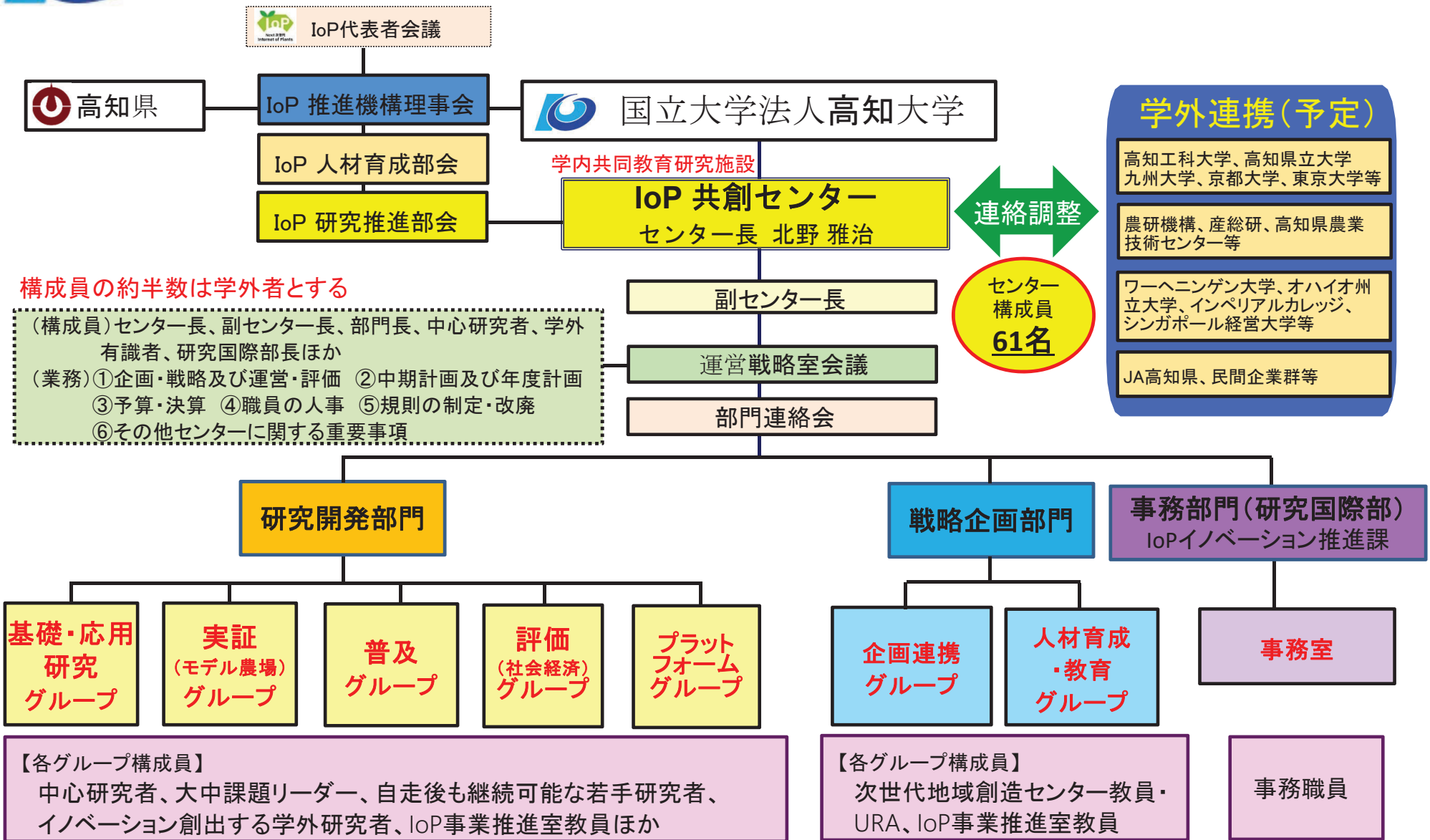
(略歴)

九州大学農学研究院教授、日本農業気象学会会長等を歴任。農業気象学・生物環境工学の教育研究に従事し、40年にわたる作物生理生態情報に関する研究を発展させて **Internet of Plants (IoP)**を提唱。





高知大学 IoP共創センター 体制図



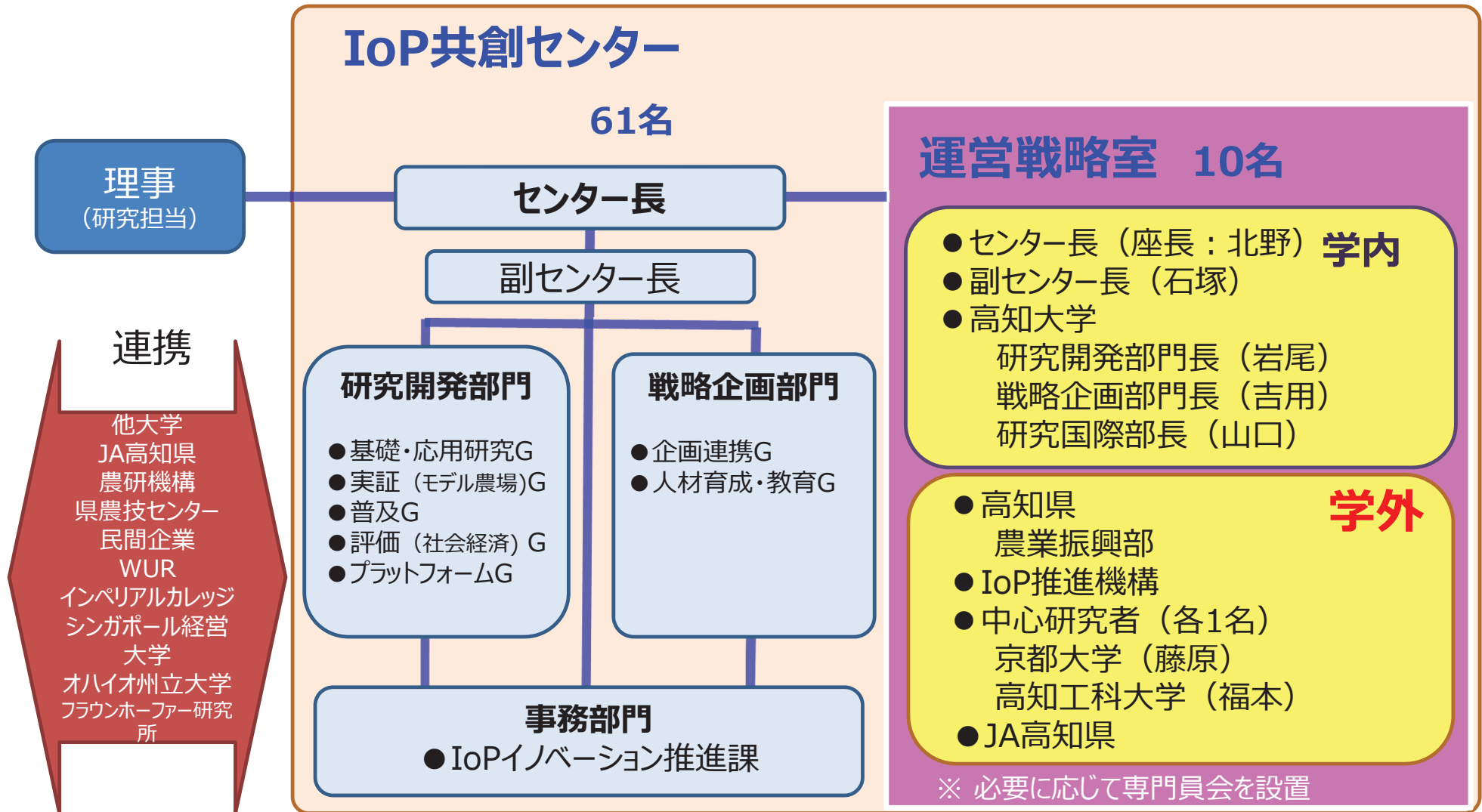
将来に渡って社会的インパクトを与える研究基盤組織



高知大学 IoP共創センター 組織と運営体制



運営戦略室会議の半数を学外者で構成 → 今後、国内外有識者も参画





高知大学 IoP共創センター 研究者紹介



【トップレベルの外部人材の登用】

IoPプロジェクトにおいて、これまでAIを活用した農業生産の高度化を担ってきた
富士通(株)開発チーム3名をヘッドハンティング

いわお ただしげ

○ **岩尾 忠重** 特任教授

(略歴)

富士通株式会社にてシニアディレクターとして国内外でのAIや数理を応用した新規ビジネスの開拓に従事。九州大学マスコアインダストリ研究所 訪問教授として社会課題への数理応用の研究従事。

やまざき とみひろ

○ **山崎 富弘** 特任研究員

(略歴)

富士通株式会社にてシニアディレクターとして農業クラウドビジネスの企画・立上げに従事。

さいとう まさひこ

○ **齊藤 雅彦** 特任研究員

(略歴)

富士通株式会社にてマネージャーを担当。通信装置設計業務の後に農業関連分野における新規ビジネス開拓に従事。

